



# うめがおか

考える子 元気な子 助け合う子

世帯数配布  
美浜町立河和小学校  
令和6年9月2日

## 子どもは星

～一人一人の輝きを大切に～

今年の夏も猛暑や地震・台風など心配なことが多くありましたが、大きな事故や怪我の報告もなく安堵しております。これも保護者や地域の皆様のご協力があったからこそと感謝申し上げます。

さて、夏休みに書類の整理をしていたら、昭和30年代、生涯を教育に捧げた教育者 東井義雄先生の「子どもは星」(以下)という詩が目にとまりました。私がこの詩に出会ったのは学生時代です。東井先生の子ども観に共感し、大切にしていきたいと思い、今日まで続けてきたつもりです。ただ、「みんな それぞれの光り方で光っている ……子どもは それを見てもらいたがっている」ということを時に忘れがちになることもありました。この夏は、ある教育新聞のコラムにも『「どの子どももは星……」』、今改めてこの言葉を噛みしめています。」と東井先生の子ども観についての記載がありました。私は、改めて、詩を読み返すとともに、「子どもたち」と一括りにしていないか、「この子」の輝きを見過ごしていないかと振り返る夏となりました。

今日から2学期が始まります。一番長い学期です。どの子どももみんな光り輝く力をもっています。それぞれの光り方で光ってほしいと願っています。そして、教職員一同、どの子どもも光り輝くことができるよう環境を整え、「この子」の輝きを見ていきたいと考えています。同時に、私たち大人自身も輝き続け、「この子」のよい人的環境となるようにしたいと思っています。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 子どもは星

どの子どもも  
子どもは 星  
みんな それぞれの光り方で 光っている  
パチ パチ  
目ばち しながら  
子どもは それを見てもらいたがっている  
無視してはならない  
無視が 続くと  
子どもは 目ばちをやめる  
無視が 重なると  
子どもは 光を消す  
目ばちを やめそうにしている 星は ないか  
光を 消しかけている 星は ないか  
光を みてやろう  
そして  
天いっばいに  
星を かがやかせよう

「培其根」東井義雄 著より

※目ばち:まばたき

10月の行事予定			掃除
1	火		○
2	水	町陸上練習会	○
3	木		○
4	金		○
5	土		
6	日		
7	月		/
8	火		○
9	水	町陸上練習会予備日 口座振替日	○
10	木	5時間授業 小委員会	○
11	金	5時間授業 ⑥5・6年生運動会準備	○
12	土	運動会 午前日程 延期:月①～③	/
13	日		
14	月	スポーツの日	
15	火	運動会代休	
16	水	運動会予備日 月①～④給食後下校	/
17	木		○
18	金	代表委員会	○
19	土		
20	日		
21	月	オンライン朝会 職員会	/
22	火		○
23	水	交通教室(5・6年)	○
24	木	5時間授業 町陸上大会	○
25	金	5時間授業 ⑤火災避難訓練	○
26	土		
27	日		
28	月	⑥4・5・6年生クラブ	/
29	火		○
30	水		○
31	木	5時間授業 町陸上大会予備日	○

今後の状況により変更することがあります

校長 山中 信子

## 運動会に向けて

7月8日(月)の朝、オンラインで運動会の「赤白」を決める抽選会が行われました。例年のとおり、体育委員会の司会進行で1年生から6年生まで、各学級代表者がくじを引きます。

例年、9月最後から10月最初の週にかけての土曜日(昨年度は9月30日)に開催されていました。しかし、ここ数年9月末とはいえ、気温が高い日が続くことから、本年度は10月12日(土)に開催いたします。

さて、くじ引きの結果は、

赤組 1年1組 2年2組 3年2組 4年1組 5年1・2・3組のB 6年1組

白組 1年2組 2年1組 3年1組 4年2組 5年1・2・3組のA 6年2組

となりました。

運動会の起源としては、1874(明治7)年に行われた、東京築地の海軍兵学校における「競闘遊戯会」が、現在の運動会のさきがけといわれています。競闘は文字通り「競い戦う」、遊戯は「遊び楽しむ」の意味があります。一見矛盾するように感じる「競い戦う」と「遊び楽しむ」の両立がテーマとして開催されていたことは、今の運動会も(もしかするとオリンピック・パラリンピックも)変わらないのかもしれませんが。



## 陸上部ミーティング

7月9日(火)は10月24日(木)に開催される「美浜町小学生陸上競技大会」に参加の意思を示した37名の児童が集まり、ミーティングを行いました。100m走・走り幅跳び・ボール投げ・50mハードル・400mリレーなど、各種目の選手人数や練習方法、日程について打ち合わせをしました。基本的に9月10日(火)から大会前日の10月23日(水)までは毎週火・水・木曜日の授業後に練習(雨天時の日は体育館)があります。

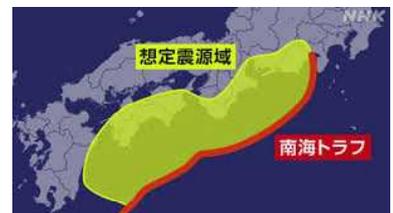


本年度の大会会場は「美浜町運動公園陸上競技場」です。去る6月30日(日)にオープニングセレモニーが開催された新設の競技場です。「直走路は8レーン以上、曲走路は6レーン以上、トラックとフィールドの舗装材は全天候舗装を要する」と定められた日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場でもあります。全天候舗装がされているレーンやフィールドということもあり、陸上部の選手は10月2日(水)に練習会も開催されます。今後、練習を通して記録を残し、選手を選抜します。自ら陸上部に参加して成果や結果を受け入れ、生かそうとする姿に期待したいと思います。

## 避難所運営訓練

7月22日(月)に本校体育館で、役場、小中学校、保育所、各区の代表など地域の様々な立場や団体の方々が参加し「避難運営設訓練」が実施されました。訓練の内容は、避難所開設時の受付や避難ルームの設置、ボックストイレや段ボールベッドの組立などが行われました。

思い起こされるのは、令和6年1月1日午後16時10分頃、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測した地震です。最近では、夏休み中の8月8日(木)16時43分頃に宮崎県日向灘を震源とする地震が発生しました。この地震の発生に伴って、※南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8月8日19時15分に「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されました。



8月15日17時をもって、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表に伴う「特別な注意の呼びかけ」は終了しました。「日頃からの地震への備えや訓練」を試されることが現実味を帯びてきました。

※南海トラフ地震・駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といい、各プレート境界を震源域として発生するとされる地震。

## 全校出校日

8月26日(月)は「全校出校日」でした。「台風10号」の接近が報じられる中でしたが、強風や大雨のなど児童の登下校に大きな影響もなく、実施することができました。教室では、配色が美しいポスターや絵画作品、素材の特性を生かした工作、写真や文章でまとめた研究レポートなど優れた応募作品や自由研究も提出されていました。



今年度も6年生は「夏休みセルフプロデュース大作戦2024」、5年生は「Wonderful summer」、4年生は「自信貯金をためよう」など、「課題を与えられてこなす」ことから「自分に合った課題のやり方や内容を考えて取り組んだり、振り返ったりできる」計画を立てて夏休みを過ごすことができました。